

---

- ダイキン「第5回 現代人の空気感調査」 -

総合報告書

健康増進法施行1年後の  
空気に関する調査結果

---

平成16年4月

ダイキン工業株式会社 広報部

# 目次

調査企画	1
調査結果の内容	3

## 禁煙・分煙の実態とオフィス環境

1. 「健康増進法」の認知	5
---------------	---

「健康増進法」の認知者 (53.8%) は半数を上回る程度、受動喫煙」の認知者は約4割 (40.8%)

2. 「受動喫煙」の防止によって、空気はきれいになったと思うか	7
---------------------------------	---

【空港】(68.3%)、【新幹線や特急電車】(67.0%)、【金融機関(銀行・郵便局など)】(54.3%)、【駅や駅のホーム】(54.3%)、【役所や学校】(53.3%)などでは“きれいになった”という印象が強いが、【居酒屋】(4.0%)、【道路(路上喫煙)】(7.3%)、【そば・うどん屋】(9.5%)、【喫茶店】(9.8%)など、場所によっては効果がほとんど表れていないとみられている

3. 禁煙・分煙対策が充実していると思う場所、遅れていると思う場所	9
-----------------------------------	---

充実していると思う場所は「病院」(78件)が最も多く、以下「駅」(43件)、「オフィス」(41件)、「電車内」(36件)、「飲食店」(34件)、「空港」(33件)、「飛行機内」(30件)など

遅れていると思う場所は「路上」(139件)が最も多く、以下「居酒屋・飲み屋」(95件)、「飲食店」(44件)、「オフィス」(32件)、「パチンコ店・遊技場」(27件)など

4. オフィスの禁煙・分煙対策はどの程度なされているか	11
-----------------------------	----

【仕事をしている部屋】(76.0%)、【トイレ】(75.0%)、【廊下やエレベータホール】(72.5%)など、何らかの“対策を設けている”割合が高い

5. オフィスの空気環境を整えるために、どのような対策をとっているか	12
------------------------------------	----

【換気扇】(75.5%)は4分の3以上の設置率だが、【吸煙装置】(40.8%)、【空気清浄機】(35.3%)、【加湿器】(26.5%)などの設置率は高くなく、十分な対策がとられているとは言えない

6. オフィスで空気の最もきれいな場所、最も汚れている場所	13
-------------------------------	----

最もきれいな場所、最も汚れている場所ともに、「自分が仕事をしている部屋」(順に38.5%、21.8%)が最も多い

## 喫煙の状況

1. タバコの手で最も気になること	14
-------------------	----

【物質】については、「ニコチン」(27.0%)、「臭い」(25.0%)、「煙」(22.5%)が気になる

【影響】については「肺ガン」(47.5%)が群を抜いて多く、以下「周囲の人への迷惑」(23.5%)、「喘息など呼吸器の疾患」(13.5%)、「胎児や子供への影響」(11.8%)などが気になる

2 . 喫煙の有無 ..... 16

喫煙率は37.8%

・性別では《女性》よりも《男性》の方が、年齢別では年齢の高い人ほど喫煙率は高い

3 . タバコを吸わない人に迷惑をかけないために、どのような吸い方をしたいか ..... 17

「喫煙場所では吸わない」(68件)のほか、「タバコを吸わない人がいる所では吸わない」(14件)、「周囲に配慮して吸う」(12件)、「喫煙する場所に配慮して吸う」(11件)、「人の多い所では吸わない」(11件)といったことに配慮したい

4 . 今後の禁煙意向 ..... 18

「禁煙しようと思っている」(17.9%)という人はあまり多くないが、「本数を減らそうと思っている」(40.4%)、「ニコチン等の少ないものに変えようと思っている」(4.6%)など、何らかの対策を考えている人は6割以上にのぼる

5 . 最もタバコで迷惑を受けていると感じる時 ..... 19

歩きタバコ」(102件)が断然多く、タバコの迷惑の典型例。以下、「食事中」(37件)、「煙が流れてくる時」(34件)、「臭いがつく時」(20件)、「仕事中」(14件)、「車の中」(10件)、「居酒屋・酒の席」(10件)などさまざまな時や場面で迷惑を受けている

6 . 自宅での喫煙方法 ..... 20

「自由に吸っている」(37.7%)という人もいるが、「自分の部屋でだけ吸っている」(32.5%)、「ベランダなど室外で吸っている」(13.9%)や、「家では吸わない」(6.0%)など、何らかの制限をしている人の方が多い

7 . 今後の禁煙・分煙のあり方について、タバコを吸う立場からの提案 ..... 21

「喫煙場所の設置」(29件)、「分煙の徹底」(20件)、「喫煙者のマナー向上」(11件)、「換気扇・空気清浄機などの設備の設置」(10件)などの順

8 . 今後の禁煙・分煙対策のあり方について、タバコを吸わない立場からの提案 ..... 22

「タバコの値上げ・増税」(35件)、「路上喫煙の禁止」(27件)、「喫煙所の設置・喫煙場所の指定」(26件)、「全面禁煙にする」(23件)、「喫煙違反者には罰則を科す」(22件)など、“タバコを吸う立場からの提案”に比べて厳しい提案が多い



# 調査企画

## 1. 調査目的

公共施設や飲食店などでの受動喫煙対策を定めた「健康増進法」が昨年5月に施行されました。

人の集まる場所での喫煙を制限するよう勧告がなされ、オフィスをはじめ、役所や学校、レストランなど街の様々な公共施設で禁煙・分煙が進んでいます。また東京都千代田区ではいち早く路上喫煙を禁止する条例が施行されるなど、社会全体が喫煙を減らす方向に向かっていきます。

そこで、健康増進法の施行から1年となる現在、自分の周りにおける空気環境の改善度合いと、禁煙・分煙の進み具合などに対する実態や意識を捉えることを目的に実施しました。

## 2. 調査対象

全国のビジネスマン・OL各200名

## 3. 調査方法

Web調査

## 4. 調査期間

2004年3月21日(日)~3月23日(火)

## 5. 標本構成

有効回収サンプル400名(男女各200名)の標本構成は、以下の通りです。

### F1. 年齢

サンプル数	19歳以下	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳以上
400	0	104	95	99	102
100.0	0.0	26.0	23.8	24.8	25.5

回答者の平均年齢  
全体：40.0才  
男性：41.5才  
女性：38.5才

性別	サンプル数	19歳以下	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳以上
男性	200	0	44	42	54	60
	100.0	0.0	22.0	21.0	27.0	30.0
女性	200	0	60	53	45	42
	100.0	0.0	30.0	26.5	22.5	21.0

### F2. 結婚

サンプル数	既婚	未婚
400	225	175
100.0	56.3	43.8

F 3 . 同居している子供（複数回答）

サンプル数	乳幼児	小学生	中学生	高校生	18才以上	子供はいない
400	42	46	35	33	73	233
100.0	10.5	11.5	8.8	8.3	18.3	58.3

F 4 . 職種

サンプル数	事務職	技術職	営業・販売職	接客・サービス職	その他
400	178	138	63	14	7
100.0	44.5	34.5	15.8	3.5	1.8

F 5 . 役職

サンプル数	一般職	中間管理職	役員
400	309	87	4
100.0	77.3	21.8	1.0

## 調査結果の内容



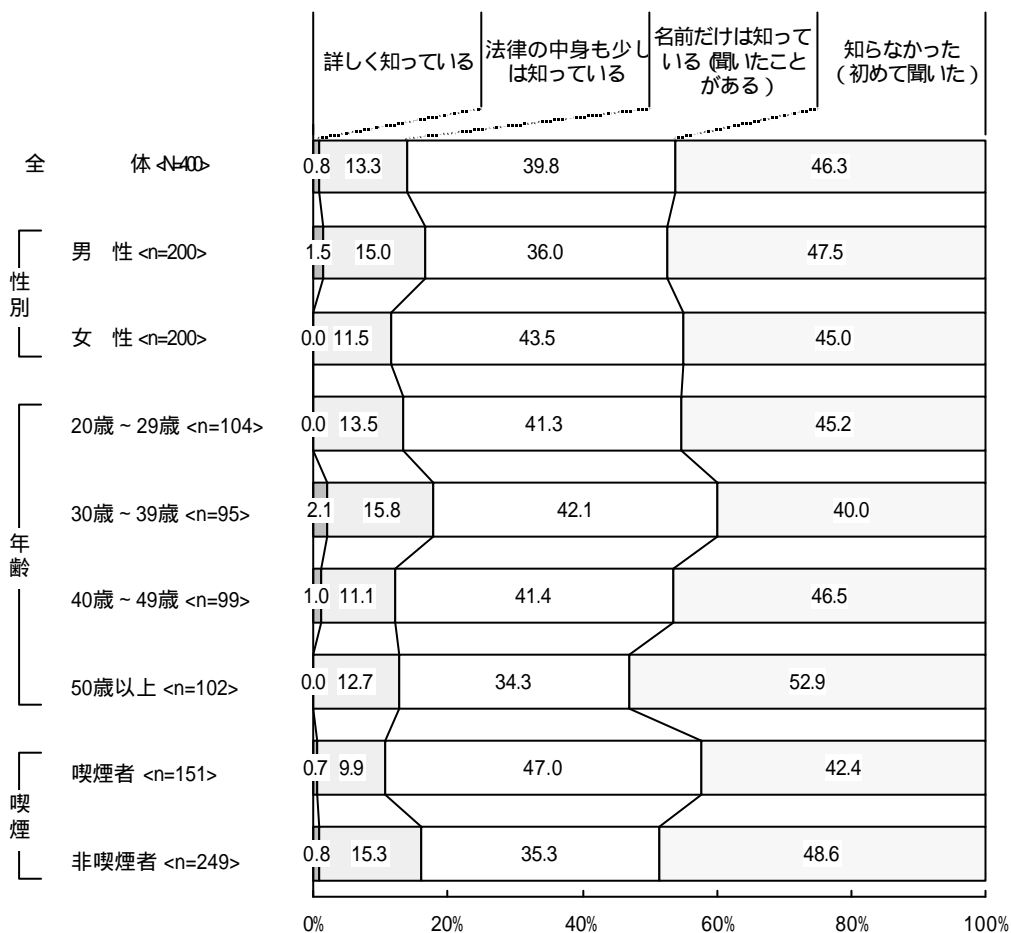


# 禁煙・分煙の実態とオフィス環境

## 1. 「健康増進法」の認知

「健康増進法」の認知者（53.8%）は半数を上回る程度、「受動喫煙」の認知者は約4割（40.8%）

図1 「健康増進法」の認知



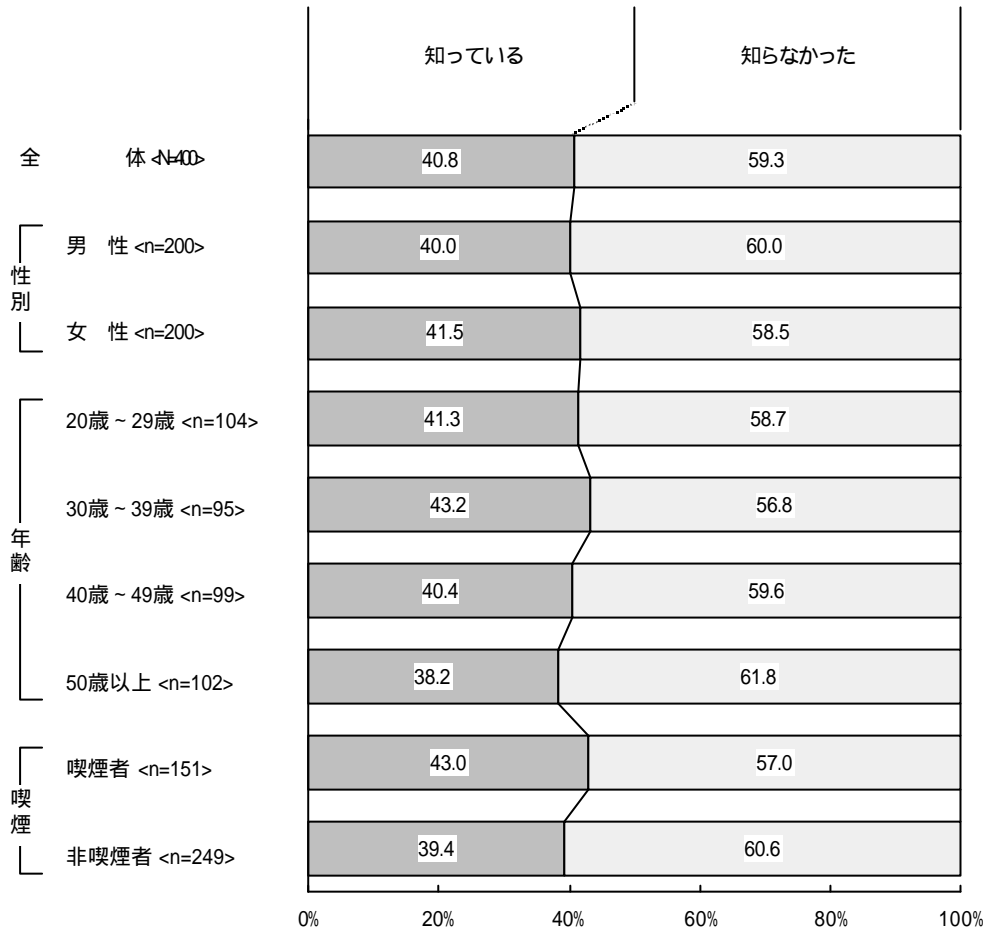
昨年5月に施行された「健康増進法」の認知状況を見ると、「詳しく知っている」(0.8%)という人はほとんどいませんが、「法律の中身も少しは知っている」は約1割(13.3%)、「名前だけは知っている(聞いたことがある)」は約4割(39.8%)あり、合わせて“認知者”(53.8%)の割合は半数をやや上回っています。

性別ではあまり差はなく、男女とも“認知者”の割合は50%台を占めています。

年齢別にみると、“認知者”の割合は《30代》(60.0%)で最も高く、《50歳以上》(47.1%)で最も低くなっています。

喫煙の有無別にみると、認知率は《喫煙者》(57.6%)の方が《非喫煙者》(51.4%)よりもやや高めです。

図 2. 健康増進法による「受動喫煙」防止措置義務の認知



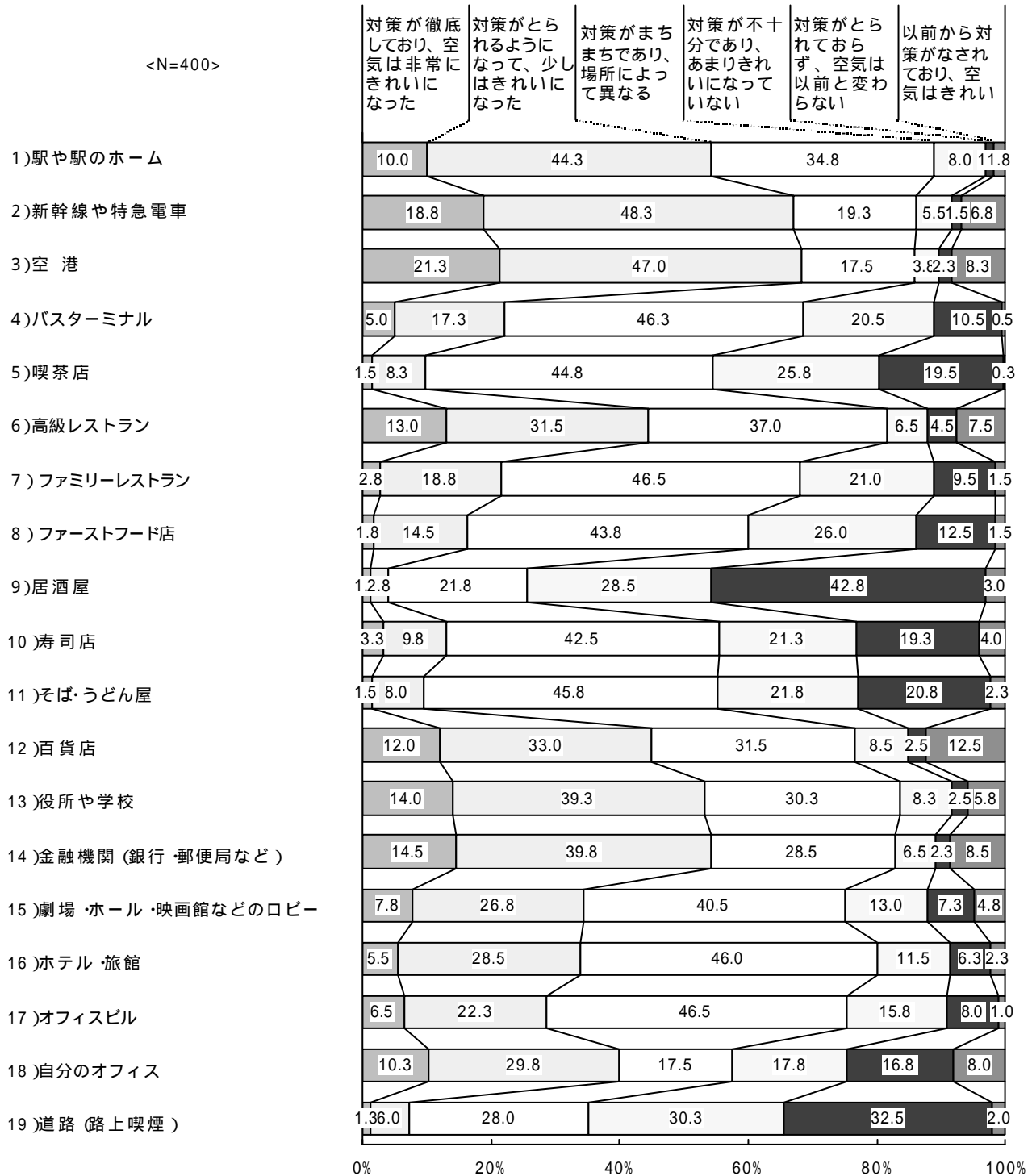
健康増進法では、多数の人が集まる場所では「受動喫煙」(タバコを吸わない人が、タバコの煙を吸わされることで喫煙しているのと同じ状態にさせられること)の防止措置を講じることが義務づけられましたが、このことを「知っている」のは約4割(40.8%)にとどまり、「知らなかった」(59.3%)という人の方が多数を占めています。

性別や年齢別、喫煙の有無別にみても、総じてあまり大きな違いはみられません。

## 2. 「受動喫煙」の防止によって、空気はきれいになったと思うか

【空港】(68.3%) 【新幹線や特急電車】(67.0%) 【金融機関(銀行・郵便局など)】(54.3%) 【駅や駅のホーム】(54.3%) 【役所や学校】(53.3%) などでは“きれいになった”という印象が強いが、【居酒屋】(4.0%) 【道路(路上喫煙)】(7.3%) 【そば・うどん屋】(9.5%) 【喫茶店】(9.8%) など、場所によっては効果がほとんど表れていないとみられている

図3. 「受動喫煙」の防止によって、空気はきれいになったと思うか



「受動喫煙」を防止するために、指定場所以外での喫煙の禁止など様々な禁煙・分煙対策がとられるようになって

てきましたが、公共の場所の空気はきれいになったと認識しているでしょうか。

【駅や駅のホーム】【道路（路上喫煙）】など19項目に分けて聞いてみたところ、最も改善されたと考えられているのは【空港】で、「対策が徹底しており、空気は非常にきれいになった」が2割強（21.3%）、「対策がとられるようになって、少しはきれいになった」が半数弱（47.0%）を占めており、合わせて“きれいになった”という意見がほぼ7割（68.3%）に達しています。

以下、“きれいになった”とする割合の高い順に、【新幹線や特急電車】（67.0%）【金融機関（銀行・郵便局など）】（54.3%）【駅や駅のホーム】（54.3%）【役所や学校】（53.3%）までの5項目では半数以上が“きれいになった”としています。

しかし、そのほかの14項目では半数に届いておらず、特に【居酒屋】（4.0%）【道路（路上喫煙）】（7.3%）【そば・うどん屋】（9.5%）【喫茶店】（9.8%）の4つの場所では1割を下回っています。

性別では全般的にほとんど差はなく、最も大きな差のある【空港】（男性64.5%、女性72.0%）でも10ポイント未満の差にすぎません。

年齢別にみると、総じて《50歳以上》の年齢層で“きれいになった”とする割合が高い傾向がみられ、特に【駅や駅のホーム】（62.7%）【高級レストラン】（52.0%）などでの差が目立ちます。

喫煙の有無別にみると、《喫煙者》の方が“きれいになった”と感じている項目が多いのが目につき、特に【役所や学校】（喫煙者62.3%、非喫煙者47.8%）【劇場・ホール・映画館などのロビー】（同43.0%、29.3%）【オフィスビル（複数の会社や店舗の入った）】（同37.1%、23.7%）などでは10ポイント以上の差が生じています。喫煙している人の方が、自分がたばこを吸っているだけ、逆に空気がきれいになったかどうか敏感なののでしょうか。あるいは、喫煙者の方が空気がきれいになったかどうかの判定が甘いのかも知れません。

表 1 . “きれいになった”と思う割合（属性別）

	全体	性別		年齢別				喫煙の有無別	
		男性	女性	20代	30代	40代	50歳以上	喫煙者	非喫煙者
1) 駅や駅のホーム	54.3	52.0	56.5	51.9	48.4	53.5	62.7	56.3	53.0
2) 新幹線や特急電車	67.0	66.0	68.0	59.6	60.0	72.7	75.5	67.5	66.7
3) 空港	68.3	64.5	72.0	68.3	64.2	68.7	71.6	70.2	67.1
4) リスターミナル	22.3	21.0	23.5	21.2	22.1	22.2	23.5	22.5	22.1
5) 喫茶店	9.8	12.5	7.0	11.5	9.5	6.1	11.8	9.3	10.0
6) 高級レストラン	44.5	45.0	44.0	46.2	41.1	38.4	52.0	41.1	46.6
7) ファミリーレストラン	21.5	23.5	19.5	19.2	18.9	25.3	22.5	20.5	22.1
8) ファーストフード店	16.3	17.5	15.0	19.2	11.6	16.2	17.6	22.5	12.4
9) 居酒屋	4.0	3.5	4.5	2.9	4.2	4.0	4.9	5.3	3.2
10) 寿司店	13.0	12.5	13.5	18.3	13.7	8.1	11.8	13.2	12.9
11) そば・うどん屋	9.5	9.0	10.0	13.5	10.5	5.1	8.8	13.2	7.2
12) 百貨店	45.0	45.0	45.0	42.3	40.0	45.5	52.0	48.3	43.0
13) 役所や学校	53.3	53.5	53.0	42.3	49.5	65.7	55.9	62.3	47.8
14) 金融機関（銀行 郵便局など）	54.3	53.5	55.0	55.8	51.6	54.5	54.9	59.6	51.0
15) 劇場 ホール 映画館などのロビー	34.5	33.0	36.0	39.4	32.6	39.4	26.5	43.0	29.3
16) ホテル 旅館	34.0	31.0	37.0	32.7	37.9	36.4	29.4	38.4	31.3
17) オフィスビル（複数の会社や店舗の入った）	28.8	29.0	28.5	26.0	30.5	24.2	34.3	37.1	23.7
18) 自分のオフィス	40.0	41.5	38.5	30.8	42.1	39.4	48.0	37.7	41.4
19) 道路（路上喫煙）	7.3	8.0	6.5	7.7	8.4	6.1	6.9	9.3	6.0

### 3. 禁煙・分煙対策が充実していると思う場所、遅れていると思う場所

充実していると思う場所は、「病院」(78件)が最も多く、以下「駅」(43件)、「オフィス」(41件)、「電車内」(36件)、「飲食店」(34件)、「空港」(33件)、「飛行機内」(30件)など

遅れていると思う場所は、「路上」(139件)が最も多く、以下「居酒屋・飲み屋」(95件)、「飲食店」(44件)、「オフィス」(32件)、「パチンコ店・遊技場」(27件)など

表 2 . 禁煙・分煙対策が充実していると思う場所 (自由回答：件)

順位		件数
1	病院	78
2	駅	43
3	オフィス	41
4	電車内	36
5	飲食店	34
6	空港	33
7	飛行機内	30
8	役所	22
9	ホテル	19
10	金融機関	14
11	デパート	13
12	学校・幼稚園	6
13	図書館	5
14	ショッピングセンター	4
	映画館	4
16	劇場・ホール	3
	その他	14

禁煙・分煙対策が充実していると思う場所を自由回答であげてもらったところ、「病院」(78件)が最も多くなっています。病院がトップにあげられているのは当然と言えるかも知れません。以下、「駅」(43件)、「オフィス」(41件)、「電車内」(36件)、「飲食店」(34件)、「空港」(33件)、「飛行機内」(30件)、「役所」(22件)、「ホテル」(19件)、「金融機関」(14件)、「デパート」(13件)などの順で、交通機関が多いのが目につきます。

表 3 . 禁煙・分煙対策が遅れていると思う場所（自由回答：件）

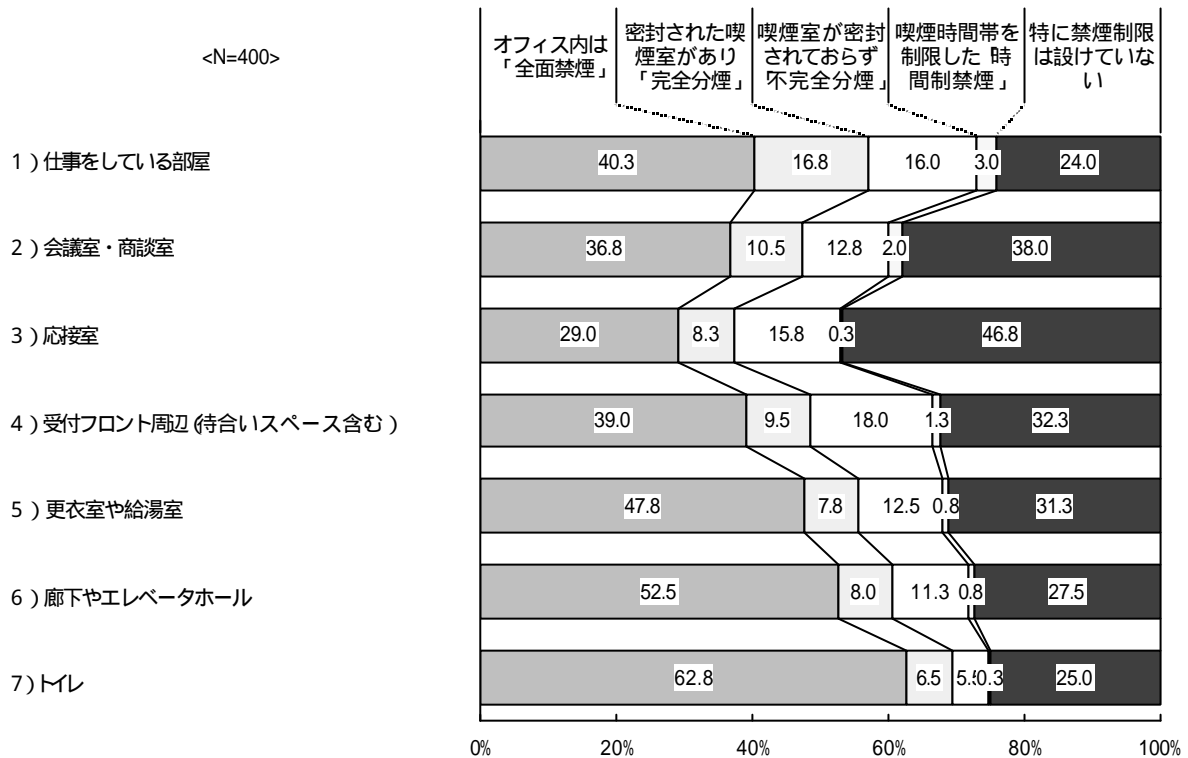
順位		件数
1	路上	139
2	居酒屋・飲み屋	95
3	飲食店	44
4	オフィス	32
5	パチンコ店・遊技場	27
6	駅	20
7	喫茶店	17
8	バス停	14
9	役所・公共機関	5
10	電車内	4
11	公園	3
	その他	11

次に、禁煙・分煙対策が遅れていると思う場所をあげてもらったところ、「路上」(139 件)が最も多くなっています。現在のところ、路上禁煙を実施しているのは千代田区・品川区・杉並区・小金井市・福岡市など限られた都市だけであり、対策が遅れているというイメージが強いようです。以下、「居酒屋・飲み屋」(95 件)「飲食店」(44 件)「オフィス」(32 件)「パチンコ店・遊技場」(27 件)「駅」(20 件)「喫茶店」(17 件)「バス停」(14 件)などがあげられています。

#### 4. オフィスの禁煙・分煙対策はどの程度なされているか

【仕事をしている部屋】(76.0%)、【トイレ】(75.0%)、【廊下やエレベータホール】(72.5%) など、何らかの“対策を設けている”割合が高い

図 4. オフィスの禁煙・分煙対策はどの程度なされているか



自分のオフィスの禁煙・分煙対策はどの程度なされているかをみると、「オフィス内は『全面禁煙』」「密封された喫煙室があり『完全分煙』」「喫煙室が密封されておらず『不完全分煙』」「喫煙時間帯を制限した『時間制禁煙』」といった何らかの“対策を設けている”割合はいずれも半数を超えており、特に【仕事をしている部屋】(76.0%)、【トイレ】(75.0%)、【廊下やエレベータホール】(72.5%) では7割台を示しています。最も低い【応接室】(53.3%) は半数程度です。

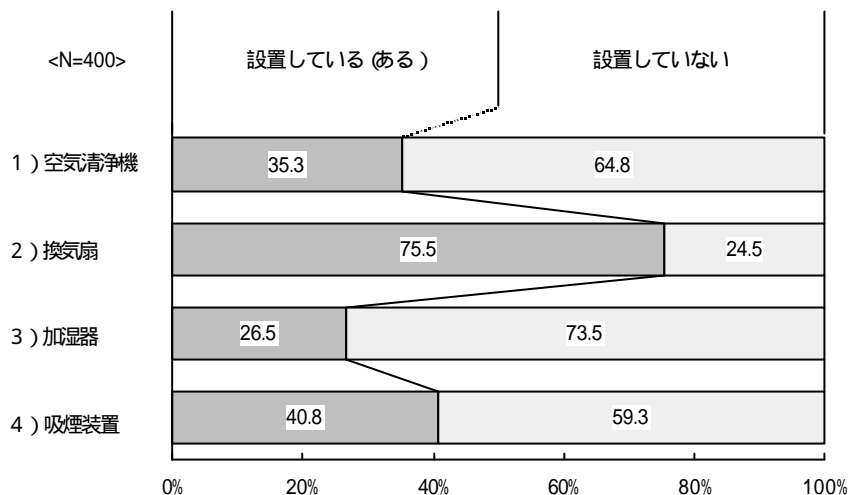
また、「オフィス内は『全面禁煙』」の割合が最も高いのは【7) トイレ】で、6割強(62.8%)に達し、次いで【廊下やエレベータホール】(52.5%) も半数以上となっています。

また、【仕事をしている部屋】では「密封された喫煙室があり『完全分煙』」(16.8%)が比較的高いのが特徴的です。

## 5. オフィスの空気環境を整えるために、どのような対策をとっているか

【換気扇】(75.5%) は4分の3以上の設置率だが、【吸煙装置】(40.8%) 【空気清浄機】(35.3%) 【加湿器】(26.5%) などの設置率は高くなく、十分な対策がとられているとは言えない

図 5. オフィスの空気環境を整えるために、どのような対策をとっているか



オフィスの空気環境を整えるために、どのような対策をとっているでしょうか。【空気清浄機】【換気扇】【加湿器】【吸煙装置】の4項目について、それぞれ設置している(またはある)かどうか聞いてみたところ、「設置している(ある)」割合が最も高いのは【換気扇】で、4人に3人強(75.5%)の割合を占めています。

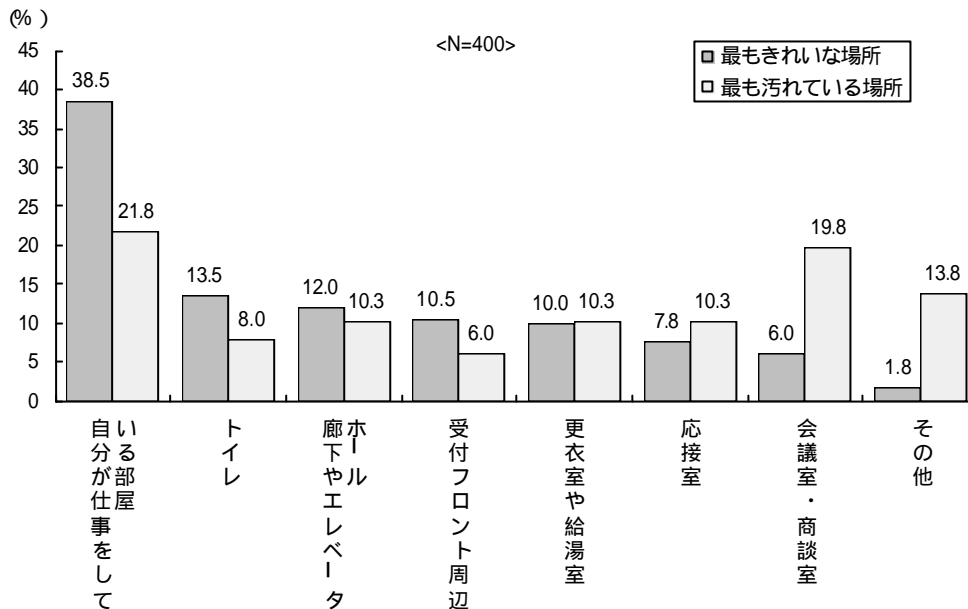
しかし、そのほかの項目は、【吸煙装置】(40.8%) 【空気清浄機】(35.3%) 【加湿器】(26.5%) と、いずれも半数に達しておらず、必ずしも十分な対策がとられているとは言えない状況のようです。



## 6. オフィスで空気の最もきれいな場所、最も汚れている場所

【最もきれいな場所】【最も汚れている場所】ともに、「自分が仕事をしている部屋」(順に38.5%、21.8%)が最も多い

図 6. オフィスで空気の最もきれいな場所、最も汚れている場所



オフィスで空気の最もきれいな場所、最も汚れている場所はそれぞれどこか聞いてみたところ、まず【最もきれいな場所】は、「自分が仕事をしている部屋」が4割近く(38.5%)を占め、突出して多くなっています。次いで、「トイレ」(13.5%)、「廊下やエレベータホール」(12.0%)、「受付フロント周辺」(10.5%)、「更衣室や給湯室」(10.0%)、「応接室」(7.8%)がそれぞれ1割前後で続いています。

次いで、【最も汚れている場所】をみると、【最もきれいな場所】と同様、「自分が仕事をしている部屋」(21.8%)が最も多くなっています。次いで、「会議室・商談室」(19.8%)も同程度で続き、以下「応接室」(10.3%)、「廊下やエレベータホール」(10.3%)、「更衣室や給湯室」(10.3%)、「トイレ」(8.0%)などの順となっています。

なお、「その他」であげられているのは、「喫煙所」(13.8%のうち8.8%)が多くなっています。

「自分が仕事をしている部屋」がきれいな場所としても汚れている場所としてもトップにあげられているのは、空気がきれいかどうか最も気になる場所であり、真っ先に意識にのぼるからなのでしょう。参考までに禁煙・分煙対策がとられているかどうかとの関係を見ると、「自分が仕事をしている部屋」が最もきれいと感じた人の約8割(83.1%)は「自分が仕事をしている部屋は完全禁煙あるいは完全分煙」であると回答しており、一方、「自分が仕事をしている部屋」が最も汚れていると感じた人の約6割(57.5%)は「自分が仕事をしている部屋は特に禁煙制限は設けていない」と回答した人となっています。

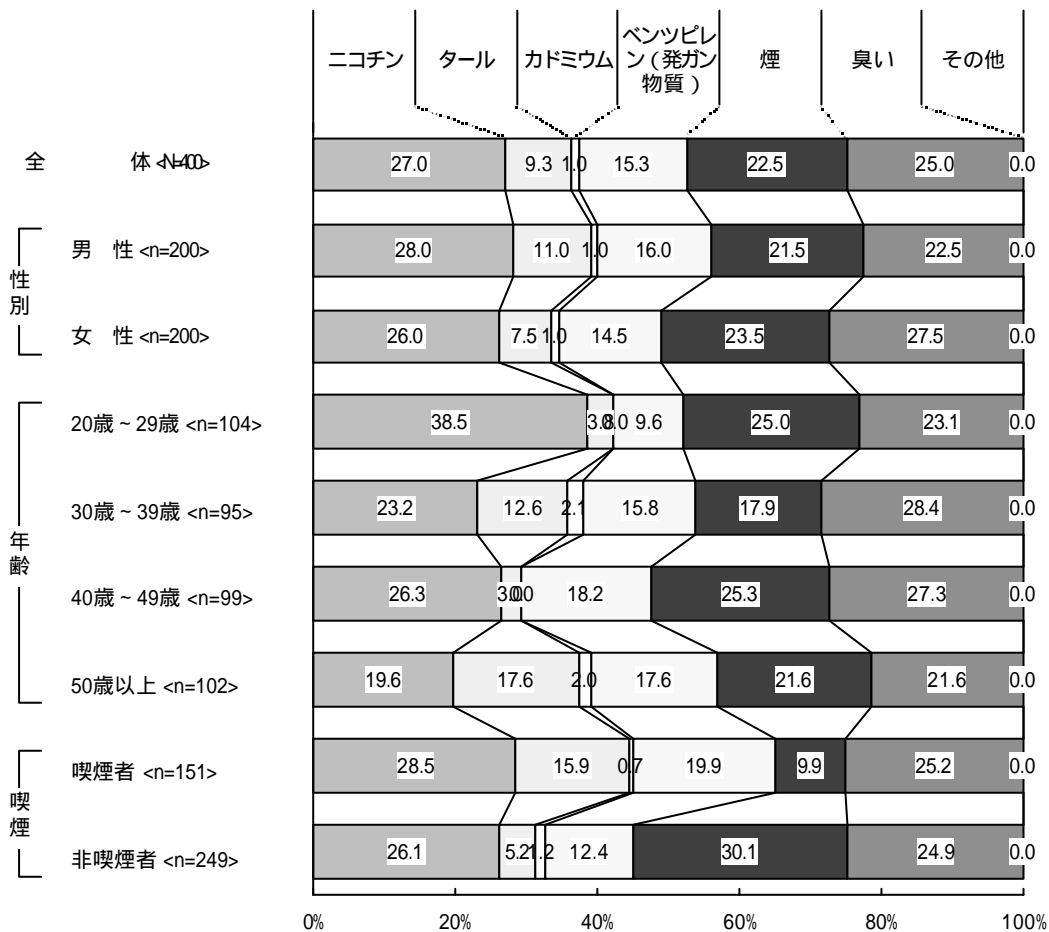
# 喫煙の状況

## 1. タバコの手で最も気になること

【物質】については、「ニコチン」(27.0%)、「臭い」(25.0%)、「煙」(22.5%)が気になる

【影響】については「肺ガン」(47.5%)が群を抜いて多く、以下「周囲の人への迷惑」(23.5%)、「喘息など呼吸器の疾患」(13.5%)、「胎児や子供への影響」(11.8%)などが気になる

図 7. タバコの手で最も気になること【物質】



タバコの手で最も気になることは何か、【物質】と【影響】に分けて聞いてみたところ、まず【物質】については、「ニコチン」(27.0%)、「臭い」(25.0%)、「煙」(22.5%)がいずれも2割台を占めて多く、次いで「ベンツピレン(発ガン物質)」(15.3%)、「タール」(9.3%)などの順となっています。

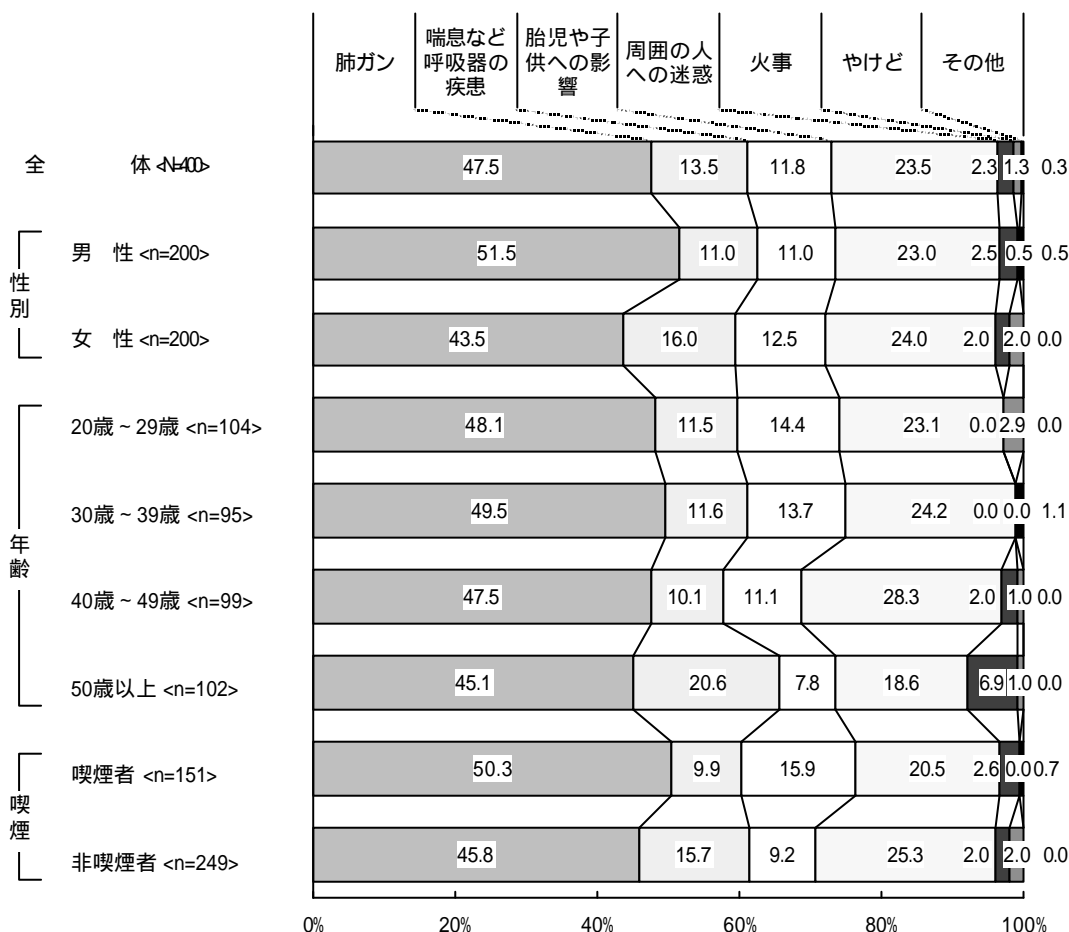
性別にみると、全般的にあまり大きな差はありませんが、「ニコチン」(男性28.0%、女性26.0%)、「タール」(同11.0%、7.5%)といった“タバコに含まれている物質”は《男性》の方が、「煙」(同21.5%、23.5%)、「臭い」(同22.5%、27.5%)といった“タバコを出す物質”は《女性》の方が、それぞれわずかずつ多くなっています。

年齢別にみると、《20代》で「ニコチン」(38.5%)をあげる割合が、他の年代の10~20%台に比べて高いのが目

につきます。

喫煙の有無別にみると、《非喫煙者》では「煙」(30.1%)が3割に達して最も多くなっていますが、《喫煙者》では約1割(9.9%)にとどまり、大きな差が生じています。一方、「タール」をあげる割合は《喫煙者》(15.9%)の方が《非喫煙者》(5.2%)よりも10ポイント以上高く、やはり喫煙者は“タバコに含まれている物質”、非喫煙者は“タバコが出す物質”が気になる傾向があるようです。

図 8 . タバコの害で最も気になること【影響】



次いで、【影響】で最も気になることは、「肺ガン」がほぼ半数(47.5%)に達し、群を抜いて多くなっています。次いで、「周囲の人への迷惑」(23.5%)が2割台、「喘息など呼吸器の疾患」(13.5%)、「胎児や子供への影響」(11.8%)がそれぞれ1割台で続いています。

性別にみると、「肺ガン」とする割合は《女性》(43.5%)よりも《男性》(51.5%)の方がやや高めです。

年齢別にみると、《50歳以上》で「喘息など呼吸器の疾患」(20.6%)が2割に達しているのが目立ちます。

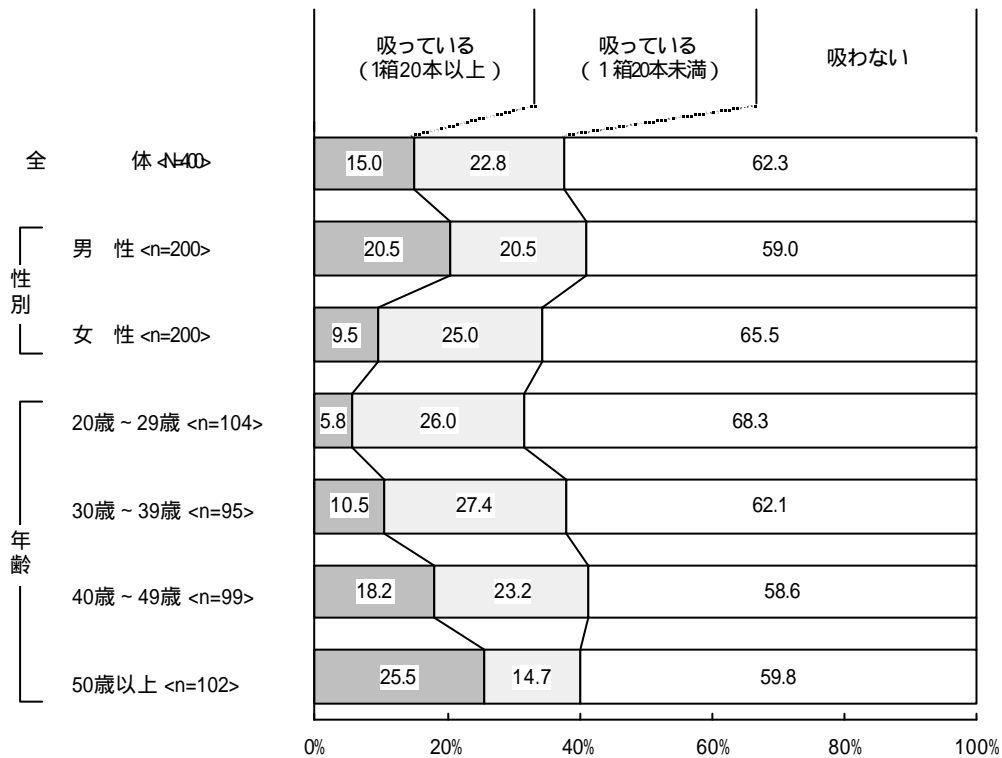
喫煙の有無別ではあまり大きな差はみられません。

## 2. 喫煙の有無

喫煙率は37.8%

性別では《女性》よりも《男性》の方が、年齢別では年齢の高い人ほど喫煙率は高い

図 9. 喫煙の有無



タバコを「吸っている (1箱20本以上)」人は15.0%、「吸っている (1箱20本未満)」は22.8%となっており、合わせて“喫煙者”の割合は37.8%となっています。

性別にみると、喫煙率は《女性》(34.5%)よりも《男性》(41.0%)の方が高く、さらに「吸っている (1箱20本以上)」割合は《男性》(20.5%)が《女性》(9.5%)の2倍以上と大きな差が生じています。

年齢別にみると、年齢が上がるほどタバコを吸っている率は高く、特に「吸っている (1箱20本以上)」割合は《20代》(5.8%)《30代》(10.5%)《40代》(18.2%)《50歳以上》(25.5%)と、はっきりした年齢傾向が表れています。

### 3. タバコを吸わない人に迷惑をかけないために、どのような吸い方をしたいか

喫煙場所では吸わない」(68件)のほか、「タバコを吸わない人がいる所では吸わない」(14件)、「周囲に配慮して吸う」(12件)、「喫煙する場所に配慮して吸う」(11件)、「人の多い所では吸わない」(11件)といったことに配慮したい

表 4 . タバコを吸わない人に迷惑をかけないために、どのような吸い方をしたいか (自由回答: 件)

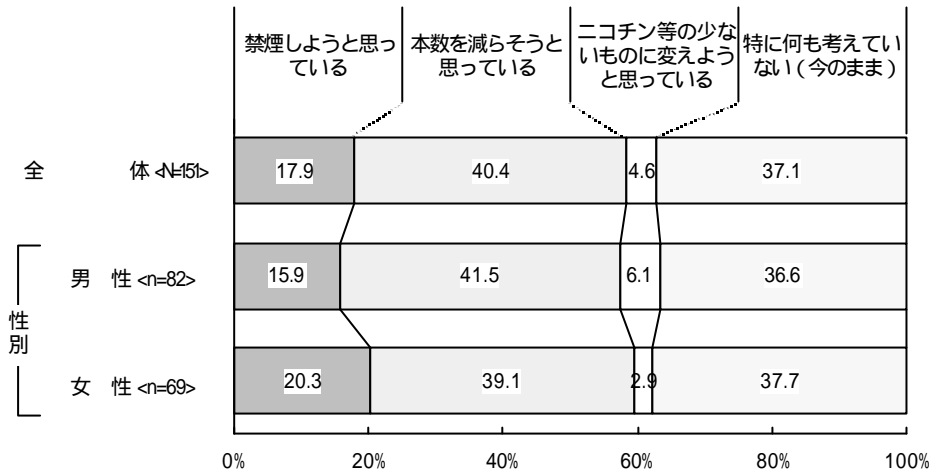
順位		件数
1	喫煙場所では吸わない	68
2	タバコを吸わない人がいる所では吸わない	14
3	周囲に配慮して吸う	12
4	喫煙する場所に配慮して吸う	11
	人の多い所では吸わない	11
6	自分の家でしか吸わない	7
7	喫煙している場所か確認する	6
8	タバコを吸ってもよいか尋ねる	5
9	歩きタバコをしない	4
	公共の場所では吸わない	4
11	子供のいる所では吸わない	3
	その他	18

タバコを吸う人に、タバコを楽しむことと、タバコを吸わない人に迷惑をかけないようにすることの両立を考えた時、どのような吸い方をしたいと思うか、自由回答であげてもらった結果をみると、「喫煙場所では吸わない」(68件)が圧倒的に多く、以下「タバコを吸わない人がいる所では吸わない」(14件)、「周囲に配慮して吸う」(12件)、「喫煙する場所に配慮して吸う」(11件)、「人の多い所では吸わない」(11件)などの順となっています。

#### 4. 今後の禁煙意向

「禁煙しようと思っている」(17.9%)という人はあまり多くないが、「本数を減らそうと思っている」(40.4%)、「ニコチン等の少ないものに変えようと思っている」(4.6%)など、何らかの対策を考えている人は6割以上にのぼる

図 10. 今後の禁煙意向



喫煙者の今後の禁煙意向をみると、「禁煙しようと思っている」(17.9%)とはっきり禁煙意向を持っている人はあまり多くありませんが、「本数を減らそうと思っている」(40.4%)という人はかなりの率にのぼり、「ニコチン等の少ないものに変えようと思っている」(4.6%)まで合わせると、6割以上の人が何らかの対策を考えています。「特に何も考えていない(今のまま)」(37.1%)という人は少数派にとどまり、このところの禁煙の流れを意識していることが多いことがうかがえます。

性別にみると、「禁煙しようと思っている」割合は《男性》(15.9%)よりも《女性》(20.3%)の方がやや高めですが、あまり大きな差ではありません。

## 5. 最もタバコで迷惑を受けていると感じる時

歩きタバコ」(102件)が断然多く、タバコの迷惑の典型例。以下、「食事中」(37件)、「煙が流れてくる時」(34件)、「臭い  
がつく時」(20件)、「仕事中」(14件)、「車の中」(10件)、「居酒屋・酒の席」(10件)などさまざまな時や場面で迷惑を受  
けている

表 5 . 最もタバコで迷惑を受けていると感じる時(自由回答:件)

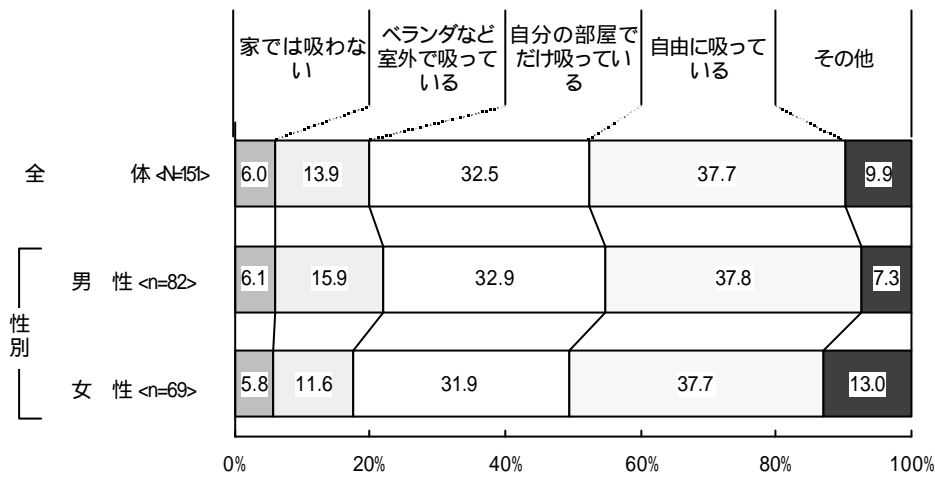
順位		件数
1	歩きタバコ	102
2	食事中	37
3	煙が流れてくる時	34
4	臭いがつく時	20
5	仕事中	14
6	車の中	10
8	居酒屋・酒の席	10
7	密閉された部屋	8
9	会議中	6
	パチンコや遊技場	6
11	バス停でバスを待っている間	5
	タバコの投げ捨て	5
13	人混み	4
	駅のホーム	4
15	喫茶店	3
	子供がいるそばで吸っている時	3
	どこでも	3
	家庭内	3
	隣で平気で吸う	3
	禁煙でない場所にいなければいけない時	3
	その他	15

タバコを吸わない人に、最もタバコで迷惑を受けていると感じる時はどんな時か、自由回答であげてもらった結果をみると、「歩きタバコ」(102件)が断然多くなっています。先にみたように“禁煙・分煙対策が遅れていると思う場所”として「路上」が最も多かったことからみても、路上における喫煙がいかにタバコを吸わない人に迷惑をかけているかがうかがえる結果となっています。以下、「食事中」(37件)、「煙が流れてくる時」(34件)、「臭い  
がつく時」(20件)、「仕事中」(14件)、「車の中」(10件)、「居酒屋・酒の席」(10件)などさまざまな時や場面があげられており、多くの場所で禁煙・分煙があまり進んでおらず、そのために非喫煙者にはかなりの迷惑がかかっているようです。

## 6 . 自宅での喫煙方法

「自由に吸っている」(37.7%)という人もいますが、「自分の部屋でだけ吸っている」(32.5%)、「ベランダなど室外で吸っている」(13.9%)や、「家では吸わない」(6.0%)など、何らかの制限をしている人の方が多い

図 11 . 自宅での喫煙方法



自宅での喫煙はどのように行っているでしょうか。

「自由に吸っている」(37.7%)という人も少なくありませんが、「自分の部屋でだけ吸っている」(32.5%)、「ベランダなど室外で吸っている」(13.9%)や、「家では吸わない」(6.0%)など、何らかの制限をしている人の方が多くなっています。

性別ではあまり差はみられません。



## 7. 今後の禁煙・分煙のあり方について、タバコを吸う立場からの提案

「喫煙場所の設置」(29件)、「分煙の徹底」(20件)、「喫煙者のマナー向上」(11件)、「換気扇・空気清浄機などの設備の設置」(10件)などの順

表 6 . 今後の禁煙・分煙のあり方について、タバコを吸う立場からの提案（自由回答：件）

順位		件数
1	喫煙場所の設置	29
2	分煙の徹底	20
3	喫煙者のマナー向上	11
4	換気扇 空気清浄機などの設備の設置	10
5	タバコの販売禁止	5
6	歩きタバコの禁止	3
	禁煙場所を増やす	3
	その他	27

今後の禁煙・分煙のあり方について、タバコを吸う者の立場からの提案を自由にあげてもらったところ、「喫煙場所の設置」(29件)、「分煙の徹底」(20件)、「喫煙者のマナー向上」(11件)、「換気扇・空気清浄機などの設備の設置」(10件)などの回答がみられます。

また、「その他」の回答でユニークなものとしては、以下のような結果となっています。

- ・禁煙税を作る
- ・携帯灰皿を改良して、タバコの箱と一体化させる。ポイ捨てがなくなります
- ・煙が出ないたばこがあればいいと思う
- ・害の少ないタバコの開発をしてほしい
- ・タバコを吸うのに免許（許可証）を発行！ 免許が無いとタバコが買えないようにする

## 8. 今後の禁煙・分煙対策のあり方について、タバコを吸わない立場からの提案

「タバコの値上げ・増税」(35件)、路上喫煙の禁止」(27件)、喫煙所の設置・喫煙場所の指定」(26件)、全面禁煙にする」(23件)、喫煙違反者には罰則を科す」(22件)など、“タバコを吸う立場からの提案”に比べて厳しい提案が多い

表 7 . 今後の禁煙・分煙対策のあり方について、タバコを吸わない立場からの提案（自由回答：件）

順位		件数
1	タバコの値上げ・増税	35
2	路上喫煙の禁止	27
3	喫煙所の設置・喫煙場所の指定	26
4	全面禁煙にする	23
5	喫煙違反者には罰則を科す	22
6	喫煙場所を完全に密閉する	17
7	喫煙者のマナー向上	16
8	タバコの販売禁止	12
9	喫煙所への吸煙装置の設置	7
	煙の出ないタバコの発明	7
11	タバコの有害性をPRする	5
	その他	25

前項に続いて、今度は今後の禁煙・分煙対策のあり方について、タバコを吸わない立場からの提案をあげてもらったところ、「タバコの値上げ・増税」(35件)をはじめ、「路上喫煙の禁止」(27件)、「喫煙所の設置・喫煙場所の指定」(26件)、「全面禁煙にする」(23件)、「喫煙違反者には罰則を科す」(22件)、「喫煙場所を完全に密閉する」(17件)、「喫煙者のマナー向上」(16件)、「タバコの販売禁止」(12件)などの順となっています。前項の“タバコを吸う立場からの提案”に比べて厳しい提案が多いのが目立ちます。

「その他」の回答で目立ったものとしては以下の通りですが、やはり厳しい意見が多いようです。

- ・宇宙飛行士のヘルメットをかぶってたばこを吸えばよい
- ・喫煙室の排煙をしない
- ・喫煙者は病院へ収容
- ・毎日吸い続けると、病気になるたばこを販売する